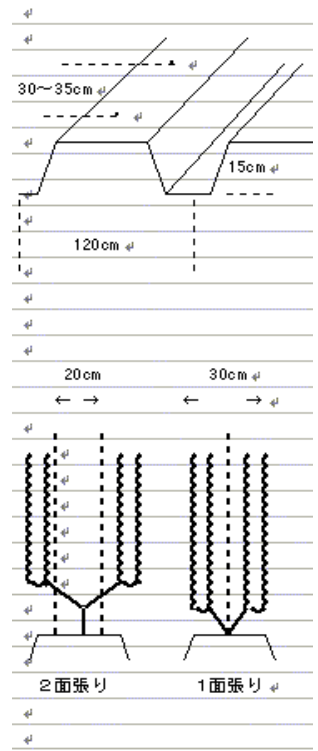


きぬさや

月	旬	作型	主要作業	作業の要点	摘要	
8	上	I	播種	1. 品種 ニムラ赤花、ニムラ赤花2号	クロールピクリン 30 $\frac{kg}{10a}$ 土壌消毒は播種20日前までに 行う。石灰施用後、土壌消毒を行う 場合は15以上間隔をあける。 基肥例 (10a当たり) 完熟たい肥 2,000kg 1B化成S1号 40kg ミネリンパワー 100kg	
	中			2. 圃場準備		
下	土壌消毒: えんどうはマメ科作物の中でも最も連作障害を受け るので、連作するには土壌消毒が必要である。 耕起: 根は深根性で、過湿には弱いので、深耕と排水対策 は十分に行う。 施肥: 完熟たい肥・ミネリンパワーは全面散布し、 その他の基肥は、畦立て前にベッド幅に施肥し、そ の上に畦を立てる。 畦つくり: 畦幅150~180cm 株間30~35cm 畦は15cm程度の揚床とする。 マルチ張り: 降雨後ある程度、湿ったときに黒マルチあるいはシル バーマルチをする。 防風対策: 竹、防風ネット、漁網、ソルゴー等を利用して防風 対策を図る。					
9	上			播種		3. 播種
	中					播種量: 1穴4~5粒 4 $\frac{kg}{10a}$ 播種法: 覆土2~3cm程度にし、播種後乾燥が続く場合に は一斉に発芽させるため過湿にならない程度にか ん水する。
	下					4. 間引き、腋芽かぎ
#	上			収穫		5. 支柱立て
	中					本葉4~5枚までに1穴3本に間引きする。腋芽を含んで1穴 10本以内に整理する。
	下					6. 誘引
1	上		収穫	8. 追肥・かん水		
	中			樹勢を見ながらかん水、追肥する。追肥にはOKF-2を1回に 10kg/10a程度を使用する。 1回目...結莢開始期 2回目...収穫始め 3回目...2回目追肥後1ヶ月		
	下			9. 収穫		
2	上		収穫	開花後2週間程度で収穫期になるので、適期収穫に心がける。		
	中					
	下					
3	上	収穫				
	中					
	下					
4	上	収穫				
	中					
	下					
5	上	収穫				
	中					
	下					



生育適温 10~20
結莢適温 14~18